

第1回次期総合振興計画（区の将来像）に係る桜区検討懇話会
議事要旨

開催日時：2018年12月3日（月）15：00～16：45

開催会場：さいたま市桜区役所 3階第1会議室

出席者（懇話会委員）：19名

桜区自治会連合会 会長	茂木 武久 氏（座長）
桜区自治会連合会 副会長	梅澤 圭司 氏（職務代理）
桜区自治会連合会 副会長	田村 良明 氏
桜区自治会連合会 副会長	川上 強 氏
桜区区民会議 副会長	長沢 正子 氏
大久保地区民生委員・児童委員協議会 会長	天野 政則 氏
田島地区民生委員・児童委員協議会 会長	山田 笑美子 氏
土合地区民生委員・児童委員協議会 会長	渡邊 忠夫 氏
土合地区社会福祉協議会 会長	小川 宅次 氏
大久保地区社会福祉協議会 会長	靱島 康之 氏
田島地区社会福祉協議会 会長	小峰 紀男 氏
さいたま市交通指導員連絡会桜支部 桜支部長	門脇 ふじ代 氏
さいたま市交通安全保護者の会（母の会）桜支部 桜支部長	原 綾 氏
さいたま市PTA協議会桜区連合会 会長	今川 夏如 氏
青少年育成さいたま市民会議桜区連絡会 代表	向山 幸雄 氏
さいたま商工会議所	厚川 俊子 氏
大久保地区まちづくりの会 会長	靱島 明 氏
西浦和駅周辺の街を住みよくする会 会長	押切 勇 氏
国立大学法人埼玉大学 副学長	井口 壽乃 氏

（事務局：さいたま市）：8名

桜区役所：木島区長／立石副区長／鳥海区民生活部長／益岡健康福祉部長／今井総務課長／増田係長／桑原主査
都市経営戦略部：田中副参事

欠席者（懇話会委員）：なし

議題及び公開又は非公開：（議題） 桜区における「課題」と「将来への期待」について
桜区の将来像・まちづくりのポイントについて
桜区の将来像の見直しについて

（公開又は非公開の別） 公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：議題と同じ

問合せ先：桜区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-856-6123

1 開会

2 挨拶

区長及び都市経営戦略部副参事より、挨拶があった。

3 出席者紹介

委員及び事務局の紹介があった。

4 座長及び職務代理者の選出

委員の互選により、座長に茂木委員を、座長の指定により職務代理者に梅澤委員を選出した。

5 意見交換

(1) 桜区における「課題」と「将来への期待」について

(2) 桜区の将来像・まちづくりのポイントについて

(3) 桜区の将来像の見直しについて

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

・西浦和駅周辺は開発が遅れているが、秋ヶ瀬公園周辺は自然に恵まれている。ここのスポーツ施設などを生かしたい。

・商工会では後継者不足が問題になっており、会社ごと売却するケースがある。西浦和駅周辺の地域は他の地域からみると、バイパスからの出入りがわかりづらく、乗り入れもしづらいついとの意見が多い。

・人口、世帯数から見ても桜区は住環境が整っているとは思わない。企業が少ない。子どもが少ない。移動することが少ないため、不便でもよいという高齢者が多い。調整区域は開発できず、市街化区域は乱開発されている。車に頼らざるを得ない地域が多い。埼玉大学に駅から歩いて行けないのは大都市として寂しい。埼大通りを拡幅してスピード化したバス路線を整備できないか。桜区の今後のインフラ整備に併せて小規模の区画整理ができないか。

・「安心して子育て」というが具体性がない。幅員は広くても歩道が狭かったり、途中でなくなったりしてしまう道路が多い。子育てを終えた人、高齢者や障害者など世代の異なる人々との交流が可能となるイベントや場がほしい。区全体で盛り上げるべき。

・西浦和駅周辺の開発については、駅までのアクセスが課題。子ども、高齢者、障害者にやさしいまちづくりが重要。

・地域によっては75歳以上が20%以上と、高齢化の課題は多い。高齢者が交流する場所が少ないため、空き家が利用できるとよい。災害時、特に水害時に高齢者をどう避難させるか、具体的な防災計画が必要。

・民生委員の対象は高齢者と子ども。高齢者は直接話ができるが、子どもに関しては保護者を介して接するため、状況を把握しづらい。こども食堂を検討してはどうか。ここを通して直接子どもと話すことができるのでは。

・防災・防犯の観点から地域内でのコミュニケーションが課題。地域の人々が集まる場所をつくることや、見守りなどのボランティア活動を活発にすることが必要。埼大生と地域住民が協働して学習塾を開いている。また、地域住民の協力により、子どもたちに食事も提供している。

・自治会活動等に取り組んでいる多くが高齢世代のため、次の世代にスムーズな引継ぎができるようにして、各世代による参加者をもっと増やしたい。

・幅員や歩道に関し安全に通れる道路が少ない。桜区は高齢者が多いが、交通の便が悪いと車に乗らざるを得ない。子どもの交通安全に対しては、地域と学校による積極的な見守りにより比較的よくできていると思う。

・桜区の悪いところをあげられているが、私はそうは思わない。もっとよいところを具体的にPRすべき。サクラソウや桜が咲いている時期や場所を紹介するなど、今あるものを熟知させることが重要。水害についても鴻沼川や鴨川の氾濫想定周知が足りない。

・桜区のこれからの課題を整理し対応したい。大宮は住みたい街の上位、浦和区は人口が増加しているが、桜区は高齢化が進んでいる。総合振興計画では「若い力の育つゆとりある生活文化都市」の目標があり、埼大はその要となる場所。埼大は国内外から学生が集まり、人的・知的資源にあふれている。埼大の地域貢献としては、市民講座を連続して開催しており、高齢者のリピーターも多い。高齢者の移動手段が問題となっているならば、埼大の優れたテクノロジーで自動運転のミニバス開発など新しい取り組みを検討することもできる。文科省の助成もある。そのためには桜区の具体的な課題を探ることが重要。

・地域の小中学校では、埼大生に勉強を教えてもらったり、話をしてもらったりすることを望んでいる。また、優れた技術でも桜区に貢献してほしい。

・産業の誘致により魅力が広がる。行政として幅広く考えてほしい。

・文言に「みんな」が多い。また、「三世代」というのも他の都市で掲げているのではない

か。ポイント3については「豊かな生活文化があるまちづくり」がよいのではないか。

・桜区では企業誘致が進んでいない。産業が集積しにくい。調整区域が多く開発は難しいが、企業が増えれば産学連携は進み、交通の利便性は向上し、人口増加につながる。桜区内に福祉会館がほしい。

・桜区の発展のため、調整区域など行政的な枠の見直しも検討してほしい。

6 閉会